

【目次】

1. 第 63 回セミナーの報告
 2. 事務局からの連絡
-

1. 第 63 回セミナーの報告

【テーマ】 デジタルトランスフォーメーションとヘルスプロモーションのためのウェアラブルデバイス動向

【講師】 塚本 昌彦 先生 (神戸大学大学院工学研究科・教授)

【日時】 2023 年 3 月 11 日 (土) 14 時 00 分～16 時 00 分

【会場】 日本女子体育大学 烏山キャンパス 東館 3 階 E308 教室

(Cisco Webex Meetings を用いたハイブリッド開催)

今回のセミナーでは、塚本昌彦先生にウェアラブルデバイスや AI の「イロハ」を教えていただきました。私自身、ウェアラブルデバイスに関連する認識が狭かったことに気づき、他の情報技術 (IT) とのつながりを抽象的であっても捉えることができたのは、非常に大きな収穫でした。また、健康・医療・福祉の分野では、ウェアラブルデバイスと AR / VR などの情報技術 (IT) との親和性が高く、デジタルトランスフォーメーション (DX) の到来のタイミングにあることが塚本先生のお話でわかりました。

さらに、印象的だったのは、私が感じているよりも、より明確に IT の進歩の速度の速さを塚本先生は感じていらっしゃることです。

主に AI の進歩によって、今「夢みたいだと考えている」ことや夢にも思っていないことが、2045 年には当たり前のようにになっている「シンギュラリティ」を予測されています。私自身はピンと来ていなかったのですが、今回現実味を増しました。

では、AI にとって代わられるのか？という問いに対して、塚本先生とのお話を通して感じたことは、使わないで恐れているのはダメだということです。私たちが失いたくない役割で、AI には任せることが本当にできないから任せられない領域、AI の方が良い成果を生むことができるから、任せたほうが良い領域やそうはいっても任せたくない領域を、私たちが考えていくべきだと思いますが、相手を知らない仲間になることはできません。技術をどう活かすか私たちが主体的に考えることが必要だと思いますが、そのためにも「使うこと」、「触れること」が大事だと改めて思いました。日本のスマートウォッチの普及率は諸外国と比較して低いそうです。(例えば、アメリカが 40%を超えているのに、日本は 10%程度。)

運営委員の上杉剛さんが、質疑応答の際の感想で、ウェアラブルデバイスを活用した自治体事業を展開することで、「健康＝病域でないこと」のメンタルフレームを変えることができるのではないかと、という発言をされました。スマートウォッチを使用することで、自分の身体や心の状態がわかるようになると、意識も変わってくるだろうと思います。ヘルスリテラシーの向上が期待できると言えるのではないのでしょうか。

このように、どのように活用すれば、より多くの人たちの QOL の向上に活動できるのか、というアイデアも使ってみること、知ることにより良いものになるはずですよ。

IT のさらなる進歩は火を見るように明らかで、健康・医療・福祉の分野は親和性が高いということを見ると、私たち自身が触れて、知っていくことの利点は大きいと思います。そうすることで、AI にやられたと

泣き言を言っている未来ではなく、AI を活用し、一緒に上手くやりながら多くの人たちの QOL 向上に資する取り組んでいるような未来があるはず、と思いました。

このような未来に向けて明るくポジティブに考える機会を提供してくださいました塚本先生に改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

(文責:運営委員 河村洋子)

当日の資料はこちら↓↓↓

<https://drive.google.com/file/d/1Ls5j3vBZ5h64XzYOQGrLZbIhNK78-GIS/view?usp=sharing>

2. 事務局からの連絡

◆総会開催は、6/24(土)を予定しております。

◆現在、事務局業務は週 2 日としております。

メールでのご対応等、お時間をいただくことがあります。

ご了承ください。

◆令和 4 年度の会費の件ですが、入金がこれからの方は、ご多用中とは存じますが、お急ぎお振込いただきますようお願い申し上げます。

--

健康社会学研究会

☆HP☆: <http://healprokenkyukai.sakura.ne.jp/wp/>

事務局: 〒157-8565 東京都世田谷区北烏山 8-19-1

日本女子体育大学 助友裕子研究室内

TEL/FAX: 03-3300-3216

E-mail: healpro.info@gmail.com

(担当:根岸加奈子、細川佳能、助友裕子)

--